

令和4年度 第1回総合教育会議

日 時 令和5年3月28日(火) 午後3時30分～午後4時25分

場 所 小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

出席者 16人

総合教育会議構成員

市長	白井 亨
教育長	大熊 雅士
教育長職務代理者	浅野 智彦
教育委員	小山田 佳代
教育委員	佐島 規
教育委員	穂坂 英明

関係者

学校教育部長	大津 雅利
生涯学習部長	梅原 啓太郎
子ども家庭部長	大澤 秀典
庶務課長	鈴木 功
学務課長	本木 直明
指導室長	加藤 治紀
生涯学習課長	関 次郎
スポーツ振興担当課長	中島 憲彦
公民館長	鈴木 遵矢
庶務課庶務係長	小平 文洋

---

事務局

企画財政部長	天野 建司
企画政策課長	富田 絵実
企画政策課係長	中川 法子
企画政策課主任	野村 啓介

---

欠席者 統括指導主事 丸山 智史  
図書館長 内田 雄介

傍聴者 1人

---

(午後3時30分開会)

◎白井市長 ただいまから令和4年度第1回総合教育会議を開催いたします。

本日の進行は、議長の私が務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

改めまして、本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。教育長、教育委員の皆様には、日頃から小金井市の教育行政に多大なる御尽力をいただいていることに改めて心より感謝、御礼を申し上げます。

さて、本日は、今年度初めての総合教育会議となります。委員の皆様から忌憚のない御意見を賜りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

時間も限られていますので、早速、次第に沿って、議事を進めてまいりたいと思います。

---

◎白井市長 それでは、議題の第1号「新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について」を議題といたします。

市民生活において、新型コロナウイルス感染症による影響がまだまだ続く中ではございますが、「いのちを守る」、「くらしを守る」ための取組として、ワクチン接種については最重要課題と位置づけ、医師会や薬剤師会の先生方の協力の下、接種の促進を図ってまいりました。ありがとうございます。また、国や東京都の感染症対策では行き渡らない部分に対して、きめ細やかな対策として、自宅療養者等への生活支援物資提供事業、買物支援事業、PCR検査受検者搬送事業、抗原検査キット配布事業などを実施いたしまして、市民の皆様の暮らしを守るための支援に取り組んできたところでございます。

現在、感染の第8波は落ち着きを見せ、感染者数は減少傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染症につきましては、令和5年5月8日から感染症法上の「新型インフルエンザ等感染症」に該当しないものとし、5類感染症に位置づけることとなりました。しかし、感染症法上の位置づけの変更後も、新型コロナウイルス感染症の特徴が変わることはありません。ウイルスがなくなるわけではありません。そのため、引き続き、市民の命と暮らしを守ることが重要でございまして、今後も感染状況に応じた必要な感染症対策及び支援に努めてまいります。

市長部局については、以上となります。

◎大熊教育長 それでは、教育委員会における主な取組について報告させていただきます。

令和4年度の市立小中学校においては、度々感染者数が急増する状況に見舞われながらも、ガイドラインに基づく感染症対策を徹底し、昨年度中止とした学校行事も再開するなど、WITHコロナを意識して教育活動を前向きに進めてまいりました。学校におけるマスクの着用の取扱いについては来年度から変更になりますが、それに先立ち、卒業式については、児童生徒がマスクを着用しないことを基本として実施したところです。その実施状況は各学校により大きく異なったところではございますが、取組が始まったということだけは事実です。

今後、感染症法上の取扱いが変更になり、学校における感染症対策の在り方も変更となる見込みですが、児童生徒の心情面に配慮することを念頭に、学校と意見交換を行いながら対応を

進めてまいりたいと考えております。

◎白井市長 まだ慣れないところもあると思いますが、徐々に慣れていければと思います。ありがとうございました。

それでは、委員の皆様から御意見、御感想等があればお聞かせいただきたいと思います。

◎穂坂委員 学校におけるマスクの着用については、今後、新たな変化が出てくる場所があります。3年間ずっとしていた児童生徒が突然外すとなると抵抗もあると思いますし、それぞれの御家庭の考え方もあって、これという指針が出ていないところですが、児童生徒、保護者が混乱しないように基準を決めて、学校から明確な指示を出していただければと思っております。また、どうしてもマスクの外せないお子さん、つまり時季的には花粉症でございますが、マスクがないと鼻水が出てしまうお子さん方が、マスクをしていることに対して逆差別やいじめの原因にならないように配慮していただければと思いますのでよろしくお願いします。

◎佐島委員 新型コロナウイルス感染症に対する感染症法上の取扱いが変更になって、コロナ禍で実施できなかった学校行事が再開できることは大変喜ばしいことだと思っております。感染症対策に取り組まれてきた先生方のこれまでの御尽力に心より感謝申し上げます。

一方、GIGAスクールやオンライン授業など、コロナ禍で一気に進んだ教育現場のDXについては、WITHコロナの時代になっても推進し、次世代を生きる子どもたちのICTスキル向上に努めていただきたいと思います。

また、コロナ禍で簡素化した行事等については、今後も不要と考えられる部分はそのまま廃し、教職員や保護者の負担の少ない新しい行事の運営に取り組んでいただきたいと思います。

◎白井市長 貴重な御意見、ありがとうございました。

---

◎白井市長 続きまして、議題の第2号「子どもオンブズパーソンの実施状況について」を議題といたします。

◎大澤子ども家庭部長 それでは、御報告をさせていただきます。

子どもの権利救済のための機関といたしまして、今年度、新たに設置いたしました子どもオンブズパーソンの活動状況につきまして御説明をさせていただきます。

令和4年4月1日付けで子どもオンブズパーソンの委員を2名委嘱し、9月には小金井第一小学校の近くの民間商業ビルの一室を借りまして、相談室を開設いたしました。相談実績につきましては、2月末日時点で28件。ペースといたしましては順調であると考えています。このうち、半分以上は子ども本人が直接相談に訪れております。内容といたしましては、偏りがあるわけではなく、友達との関係や、教職員、保護者との関係、自身の心の揺れの吐露など、多岐にわたっております。

その一因として、子どもの権利の普及啓発といたしましては、市内の高校までの全学校に御協力をいただいて、機関紙などを定期的に配布し、小学校では朝礼への出演や、道徳地区公開講座及び児童生徒へのいじめ予防授業への登壇依頼をいただいており、学校だよりでの自主的

な周知協力も御支援いただき、児童館へ出張相談室を行った際には、ロゴを見まして、知っている声をかけてくれる児童生徒もいたところから、順調に認知が進んでいると感じているところでございます。

今後の課題といたしましては、現状、小学生からの相談が7割を占め、中高生からの相談が1割と少ないことから、この層へのアクセスをいかに増やすかというところが一つでございます。こちらに関しましては、市立中学校に相談用の投書箱を設置させていただくこととなっております。

また、もう一つの課題といたしまして、子どもの権利自体の認知度向上が恒常的な課題となっております。4月に新たに子ども向けの権利を知るHPを開設するとともに、次年度から、学校における権利学習にも取り組みたいと考えております。

この場をお借りしまして、改めて教育委員会の皆様の御協力に感謝申し上げますとともに、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと育つための権利普及に尽力していく所存でございますので、引き続き御支援をよろしくお願いいたします。

◎白井市長 ありがとうございます。

本当に各関係機関の御協力があったの周知活動だと思います。改めて御礼を申し上げます。

それでは、委員の皆様から御意見、御感想等があればお聞かせいただきたいと思います。

◎浅野教育長職務代理者 この間、子どもオンブズパーソンの開設につきまして御尽力いただきました担当部局、担当者の方々をはじめとして関連する全ての方々に御礼を申し上げたいと思います。

子どもオンブズパーソンは、子どもの権利の実質化、あるいは具体化にとって非常に大きな意味を持つ、そういう制度だと考えております。この制度が十分な効果を発揮するためには、人に知られることなく連絡を取れるという点がとても重要だと思います。今、御報告にありましたように、小学生に比べて中学生、高校生が少ないということで、やはり思春期には相談自体が少し難しいところがあると想像しております。その点から考えると、中学校に相談用の投書箱を設置していただいたこと、これはとてもありがたい取組だと考えております。今後も、そういった様々な方法を試していただけると、我々としてもありがたく思います。

総じて、重要なことは、困り事を抱えている、あるいは悩んでいる子どもたちに対して、相談への敷居をできるだけ下げていくことだと思います。どういう悩みでも相談していいのだということ、それから、相談しようと思った際に様々な手段が用意されているということが大切であり、それを今後も児童生徒にお知らせしていくことがとても大切だと思っております。

それから、子どもの権利についての認知を高めるためにはどこの自治体もいろいろ苦勞なさっているかと思えます。小金井市としても、今後も引き続き粘り強く取組を続けていくことをお願いできればと考えているところです。

◎白井市長 ありがとうございます。

◎小山田委員 浅野委員のお話にもございましたが、今後の課題の一つとしては、子どもの権

利自体の認知度を向上するというこのために、やはり学校における権利学習に取り組むということですが、子どもオンブズパーソンの取組を有効にしていくためには、こういった学校側との連携というのは非常に重要なことだと思っています。困ったときに相談したり頼る相手として、教員はもちろん、教育委員会としてはスクールカウンセラーや教育相談所も設置しているところですが、やはり第三者のほうが話しやすいということもあるかと思います。今後も、学校を含めた関係機関と連携を深めていっていただきたいと思っています。

◎白井市長 貴重な御意見ありがとうございました。しっかり受け止めて取り組んでいきたいと思っています。

---

◎白井市長 それでは、続きまして、議題第3号「小学校の校舎増築、増改築について」を議題といたします。

◎大津学校教育部長 市立小中学校においては、令和2年度に小金井市学校施設長寿命化計画を策定し、施設の老朽化対策を計画的に行っていくこととしておりましたが、令和3年度の法改正による小学校の学級編成標準の引下げの影響で、小金井第一小学校、東小学校及び緑小学校の3校では、長寿命化計画策定時の想定以上に学級数が増加し、普通教室が不足するおそれが生じてきたことから、当該3校においては、校舎の改築や増築を早急に行っていく必要が出てまいりました。

そのことから、小金井第一小学校については、令和4年9月に小金井第一小学校における校舎建替え等基本計画を策定し、今年3月から校舎改築の基本設計に着手しているところでございます。また、東小学校については、令和4年9月に東小学校における校舎増築等基本計画を策定し、令和5年2月に増築校舎等賃貸借の契約を事業者と締結し、現在、契約業者が増築校舎の設計を進めているところでございます。そして、緑小学校については、今年、校舎増築の基本設計が完了し、来年度から実施設計に着手してまいります。

当該3校の増築については、教室不足とならないよう、スピード感を持って進めていく必要があることから、引き続き公共施設マネジメント推進担当をはじめ、関係課と連携し、円滑な事業推進に取り組んでまいります。

◎白井市長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様から御意見、御感想があれば聞かせいただければと思います。

◎佐島委員 小学校における校舎の増改築について、スピード感を持って進めていくという話でございましたけれども、これを進めていくに当たって、学校は当然のこと、保護者や地域の方々の御理解と御協力も欠かせないものだと思っています。小金井第一小学校、東小学校、緑小学校の増改築については、教室不足とならないように本当に迅速な対応が求められているところではありますけれども、担当課においては学校と緊密に連携して、保護者や地域住民の方々への丁寧な情報提供に努め、意見をしっかりと聞きながら取り組んでいただければと思います。

◎白井市長 貴重な御意見ありがとうございます。

---

◎白井市長 それでは、続きまして、議題第4号「教育委員会事業に係る令和4年度総括及び令和5年度展望について」を議題といたします。教育委員会から説明を求めます。

◎大熊教育長 それでは、配付資料を御覧いただきながら、学校教育部、生涯学習部から順次幾つかの項目に絞って御説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

◎大津学校教育部長 それでは、学校教育部の事業について、令和4年度の総括と令和5年度の展望を申し上げます。

最初は、庶務課事業について御説明いたします。

令和4年度につきましては、小学校における施設の老朽化と学級数の増加への対応として、小金井第一小学校、小金井第三小学校、東小学校における増改築等基本設計を策定し、小金井第一小学校の校舎建替え、東小学校の校舎増築を早急に進めていくこととしたほか、緑小学校の校舎増築等基本設計を取りまとめたところでございます。また、小中学校トイレ洋式化率の向上のため、小中学校4校においてトイレ改修工事を行い、小中学校全体の洋式化率を61.2%とし、昨年度から8.9ポイント向上したところでございます。

その他の施設整備関連では、小金井第二小学校及び緑中学校において、給食室空調設備設置工事を行い、調理員の作業環境を改善したほか、本町小学校の屋上防水工事、小金井第二小学校のプール循環ろ過設備改修工事、南小学校の屋内消火栓設備配管改修工事などを実施し、学校設備の維持補修を行ってまいりました。

令和5年度におきましては、小金井第一小学校、東小学校及び緑小学校における校舎増築等の設計工事を進めてまいるほか、トイレ洋式化の向上のためのトイレ改修工事、給食調理員の作業環境改善のための給食室空調設備設置工事を継続してまいります。その他、本町小学校及び小金井第二中学校の防火設備等改修工事、緑中学校の鉄骨階段改修工事などを計画しております。

引き続き、子どもたちの安全・安心を最優先に、学校施設としてふさわしい快適な学習環境の整備に努めてまいります。

続きまして、学務課事業についてでございます。

令和4年度につきましては、まず、GIGAスクール構想についてでございます。引き続き、小中学校で1人1台のパソコンを利用した授業が円滑に実施できるよう、高速インターネットの維持管理に努め、学校において良好な通信環境を維持してございます。令和5年度におきましても、児童生徒の増加分や故障対応分を追加し、高速通信環境の維持に努めてまいります。

次に、学校給食調理業務の更なる委託でございます。平成25年9月から小学校5校の給食調理を委託した後、更なる委託が課題となっておりましたが、令和4年4月から小金井第三小学校の給食調理業務を委託いたしました。直営方式から代わったところですが、支障なく「安全でおいしく温かい給食」を提供しているところでございます。引き続き、令和6年4月から

の小金井第一小学校の委託についても準備を進めてまいります。

次に、トイレ清掃についてでございます。学校のトイレの臭気問題につきましては、かねてから懸案事項となっております。老朽化や様々な事情により、複合した理由があるものと考えております。令和5年度におきましては、これまで週1回の清掃委託を週2回とする予算としたところです。解決の難しい課題でございますが、学校の美化環境の維持に努めてまいります。

次に、通学路防犯カメラについてでございます。再編した東京都の補助金を活用し、小学校の要望に基づき、小学校の通学路に防犯カメラ6台を増設いたします。また、既存の防犯カメラのうち15台の機器を更新し、通学路の安心・安全に努めてまいります。

次に、指導室事業についてでございます。令和4年度につきましては、昨年度、部分的に開始していた東京学芸大学構内におけるもくせい教室開設を完全移転に移行し、不登校児童生徒の支援の充実を図ってまいりました。東京学芸大学の多様な施設の活用や民間企業の協力による室内環境の整備等の取組により、毎月のように見学予約が入り、利用者が増加してまいりました。

また、令和4年1月1日の小金井市気候非常事態宣言の発出を受け、市立全小中学校において、児童生徒の主体性を生かした「ハチドリプロジェクト」を推進し、現在、各校のHP上で取組の内容をまとめた動画が公開されてございます。また、小金井教育の日には、中学校同士の実践報告と意見交換を行うこともできました。

令和5年度におきましては、「ハチドリプロジェクト」をさらに広く展開していくために、小中学生からアイデアを募集してキャラクターを作成するとともに、小学校全体で浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の見学を実施し、森林環境譲与税を活用して、林間学校における森林体験学習を推進するなど、体験的な学びの充実を図ってまいります。

コミュニティ・スクール指定の条件となる「学校運営協議会」につきましては、令和2年度から順次設置を進め、今年度で9校が設置完了しております。次年度、新たに5校を設置します。これで、市立小中学校全校がコミュニティ・スクールとなることから、今後は学校間の情報交換を更に充実させ、学校教育に山積する様々な課題を、地域の方々と協働しながら解決に取り組む学校づくりを推進してまいります。

学校教育部については以上でございます。

**◎梅原生涯学習部長** それでは、生涯学習部の事業につきまして、令和4年度の総括と令和5年度の展望を申し上げます。

最初に、生涯学習課事業について御説明いたします。令和4年度における生涯学習課の総括です。

所掌事務のうち、主な項目について申し上げます。放課後子ども教室につきましては、緊急事態宣言などによる長期の休止期間がなかったことなどから、おおむね予定どおり実施することができ、総実施回数が初めて千回を超えるなど、各学校区において、コーディネーター中心に、安全・安心な運用を第一として、学校などと調整していただきながら、地域の多くの方に

放課後の子どもの居場所づくりに御尽力いただきました。

地域学校協働活動につきましては、今年度、小金井第三小学校、小金井第四小学校、東小学校、南小学校、小金井第一中学校において、それぞれ地域コーディネーターを委嘱させていただき、実施体制を構築することができました。同時に進行しているコミュニティ・スクールと連携を図り、実情に応じて実施していただいているところでございます。

文化財関連で1点申し上げます。名勝小金井（サクラ）につきましては、国の名勝指定から、令和6年12月9日で100周年を迎えることから、令和6年度に、節目の年を記念して「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」を計画しております。式典等の記念事業の企画運営につきましては、多くの市民の方などの御協力をいただきたいことから、市内の奉仕団体などにお声かけさせていただき、名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業実行委員会を立ち上げたところでございます。今後は、名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年をきっかけとして、公民連携、官民協働で小金井を盛り上げてまいりたいと考えております。

スポーツ関連について申し上げます。小金井市スポーツ推進計画にうたう「だれでも、いつでも、どこでも」の理念に基づき、手軽に屋外で実施でき、健康増進を図れるポールウォーキングの教室を実施いたしました。また、スポーツ推進審議会において、令和5年度以降の第2次小金井市スポーツ推進計画（案）を検討し、本日、教育委員会の御議決をいただいたことから、パブリックコメントに対する検討結果とともに成案を公表する予定でございます。その他、長期修繕計画に基づき、総合体育館において第3期の大規模改修工事を実施いたしました。この第3期工事をもちまして、4か年に及ぶ総合体育館、栗山公園健康運動センターにおける大規模改修工事は一段落となります。

次に、令和5年度における事業展望でございます。放課後子ども教室については、全ての小学校区で平日の5日開催を予定しております。また、地域学校協働活動については、全ての小中学校区で実施する予定であります。活動を充実させていくためには、今後も活動場所として、学校の協力をいただきながら、コーディネーターとこれまで以上に連携し、放課後の子どもの居場所づくりの充実、また、学校を核としたコミュニティづくりを目指してまいります。

文化財関係についてでございます。市内に本拠地があります結城座については、江戸糸あやつり人形が国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選定されており、重要な文化財を後世にその価値も含めて正確に伝えていき保護していくことを目的とした学術調査報告書の作成に向けた基礎調査を行う予定でございます。今後も、小金井の魅力発信に向けた取組を充実させてまいります。

スポーツ関係についてです。民間体育施設開放事業として、総合学院テクノスカレッジの体育館に加え、メガロス武蔵小金井のアリーナを新たに市民利用に供することで、スポーツ振興の拡充を図ってまいります。また、東京都主催のオリンピックロードレースのコースを基本とした多摩地域での自転車ロードレースの開催に当たり、本市もコース沿道自治体として大会運営に連携して取り組むとともに、地域のスポーツ振興及び魅力向上を図ってまいります。



次に、図書館事業について御説明いたします。

令和4年度につきましては、2点ございます。1点目は、国の森林環境譲与税を活用して、本館参考資料室の書架並びに閲覧机、緑分室並びに東分室の書架を修繕いたしました。老朽化している書架を修繕し市民の安全を確保するとともに、様々なサイズの図書にも対応できるように棚板を可能な限り可動式にしたことで、収蔵能力を増やすことができました。また、本館新聞閲覧台を設置いたしました。

2点目は、本館の放送設備を更新しました。放送設備は、図書館閉館時の御案内や災害時の非常時に館内アナウンスをするために欠かせない設備となっています。なお、更新後には閉館の御案内に市歌を流しております。市民が地域への愛着を感じる、そのような機会にしてもらいたいと思っております。

令和5年度においては3点ございます。1点目は、引き続き森林環境譲与税を活用して、本館のヤングアダルトコーナーと緑分室の書架を修繕するとともに、本館参考資料室の書架を購入いたします。

2点目は、故障している蛍光灯をLEDに取替えをいたします。

3点目は、本館書架のレイアウトを変更します。死角をなくし、盗難や利用者のトラブルを防ぎ、安全・安心なサービスを提供してまいります。

最後に、公民館事業について御説明いたします。

令和4年度につきましては、令和3年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、公民館主催事業については、公民館各室の換気や消毒、マスク着用の徹底など、活動団体の皆さんの御協力によりまして感染拡大防止を図り、Withコロナと称される状況が定着していると感じております。これからも、国、東京都の動向を注視しつつ、何よりも市民の安全を第一に考え、通常の運営ができるよう目指していく考えです。

令和4年度の主な事業としましては、講座管理システムを導入し、会計年度中に主催事業の配信の実証実験を行ってまいりました。今後、その結果を検証し、遠隔地からの講師の講義実施や、何らかの事情により講座に参加できない市民が参加できるような取組を本格化し、アフターコロナにおける公民館事業の新しい取組として積極的に活用してまいります。

令和5年度につきましては、公民館中長期計画を策定して3年目となります。同計画に基づき、市民の誰もが気軽に立ち寄り自由に学べる機会の提供の拡大に努め、更に人生100年時代において、公民館で学び、福祉や社会教育関係団体等の活動で実践することを支援する機能の強化に引き続き注力し、併せて、同計画に位置づけられている公民館事業運営委託、公民館施設利用料有料化など、公民館の課題についても着実な進捗を目指し、公民館の将来像、「つどい、学び、つながる地域の拠点（ひろば）」の実現に向けて取組を進めてまいります。

生涯学習部につきましては以上でございます。

◎白井市長 ありがとうございます。

ただいまの令和4年度総括及び令和5年度展望について、御意見、御感想があればお聞かせ

いただきたいと思います。

◎**穂坂委員** 学校トイレの清掃ですが、学校のトイレは昔から臭うという感覚がありました。最近、自宅のトイレもきれいになり、子どもたちにとっては、自宅と学校とのトイレの臭いのギャップを感じると思います。週2回の清掃ということに期待はするのですが、清掃だけで完全に解決することは難しいと思います。建替えなどにより、最新のトイレ環境になるまでは仕方がないと思いますが、それまでの間のトイレの環境を守っていただきたいと思います。

◎**佐島委員** 指導室関連事業で、不登校対策と働き方改革について御意見を申し上げたいと思います。

まず、不登校対策ですが、全国的に不登校児童生徒数が増加している中で、本市でも、小学生で不登校が増加傾向にあって憂慮をしているところです。教育委員会においても、もくせい教室の充実やメタバースを活用した不登校支援検証事業への参加など、様々な取組に果敢に挑戦していただいているところではありますが、今年度策定した教育支援センター構想の実現など、市においても積極的に御支援をいただければと思っております。

また、学校における働き方改革の推進について、今後の教員確保にも直結する重要かつ喫緊の課題だと考えております。副校長補佐が、今年度、全校配置になるなど、学校の支援体制が充実してきたところではありますが、引き続き多面的な支援が必要と考えておりますので、よろしく願いいたします。

◎**小山田委員** 私からは、生涯学習課の関連事業で意見を述べたいと思います。

まず、放課後子ども教室についてです。来年度、いよいよ全小学校区で平日の月曜日から金曜日までの全日開催を実施する予定であることが、担当部長から御説明がございました。コーディネーターが中心となって多くの地域の方々がこれまで積み上げてこられた結果だと思えます。改めて御礼を申し上げるとともに、放課後の子どもの居場所づくりは市の重要施策であることから、教育委員会としましては、市長部局とさらに連携して充実させていただきたいと思っております。

続きまして、来年度、コミュニティ・スクールを全校設置ということに鑑み、地域学校協働活動につきましても全ての小中学校区で実施すると説明がございました。放課後子ども教室と同様に、多くの地域の方々も御協力をいただいております、地域の活性化を目指したこの事業は同じく市の重要施策の一つでありますので、こちらも全市的に取り組めるように望んでおります。

そして、スポーツ関連です。スポーツ環境の充実につきましては、令和5年度に新たにメガロス武蔵小金井アリーナの市民開放を予定しているとのことでしたが、今後も安全で快適にスポーツができる場の充実が求められることから、市長部局における公共施設の担当部署などとも連携を図ってもらいたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

◎**浅野教育長職務代理者** 私からは、図書館と公民館について、それぞれ一つずつお話をさせていただきます。

1点目は図書館についてです。御承知のこととは思いますが、図書館は、知る権利の保障を

通して、民主主義の根幹ともなるべき施設で、それは小金井市にとっても同じで、小金井市民にとって非常に重要な施設であります。この施設を支える上で、今回、幾つかの点で、市長部局のほうから、予算化によって大変心強いバックアップをいただいたということについて、まず、御礼を申し上げたいと思います。

施設設備の老朽化、それからスペースの不足、これは慢性的かつ深刻な問題になっていますが、とりわけ本市図書館の参考資料室の資料はサイズが非常に大きく、また、大変重いということから利用者が本を取りにくくなっており、場合によっては落下時にやや危険があるということが指摘されてきました。そのため、今回、本館資料室の書架の購入を予算化していただいたこと、これは我々にとって大変ありがたいことでありました。改めて、御礼を申し上げたいと思います。

もう1点、本館の書架のレイアウトについてです。現在の書架の並びは見通しがやや確保しづらい状況となっており、今回、レイアウトを変更することができますと、見通しを確保することができます、資料の盗難であるとか、あるいは利用者のトラブルを抑制するなどといった効果を期待することができます。この点も予算化していただいたこと、大変ありがたく思っております。

ただ、これも改めて申し上げるまでもないことですが、資料が積み上がっていき、スペースは足りないままであるという、この状況が慢性的かつ深刻な状況になっております。今後とも、引き続きこの問題の解決に向けて、市長部局と教育委員会とで協力して取り組んでいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上が図書館についてです。

2点目は公民館についてです。先ほども御報告がありましたように、令和4年度に講座管理システムを導入しております。これは、考えてみますと、コロナ禍という、ある種のピンチを逆にチャンスとして受け止め、新しい可能性を展開する試みであると受け止めております。

他方で、全てオンラインにすればよいというわけでもなく、実際にある空間を共有する、集まる、集うという、そのことの価値は言うまでもないことですから、その点にも十分配慮しながら積極的な新しいシステムと旧来のやり方のベストミックスを目指しながら積極的な活用を続けていきたいと考えているところであります。

◎白井市長 ありがとうございます。

委員の皆様から、貴重な御意見をいただき、感謝を申し上げます。

---

◎白井市長 それでは、最後に、議題の第5号「小金井市教育・文化の振興に関する総合的施策の大綱について」を議題といたします。

平成27年に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、総合教育会議が設置されました。同時に、地方自治体の長が、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとなりました。現在の施策の大綱は、法律改正に基づき平成27年11月に

小金井市教育・文化の振興に関する総合的施策の大綱として策定したものとなります。

ここで、新たに私が市長に就任したことから、令和5年度に改定を行いたいと思います。施策の大綱は市長が策定し、地域住民の意向等を教育行政に反映させ、教育、学術及び文化の振興を総合的に推進することに目的があります。また、策定においては、総合教育会議において協議、調整を尽くすこととなってございますため、令和5年度は、総合教育会議のメンバーである教育委員の皆様の御協力をお願いいたします。

私からは以上となりますが、教育委員の皆様の御意見等ございますでしょうか。

◎浅野教育長職務代理者 先ほど指導室や生涯学習課からの報告にもありましたように、市にはコミュニティ・スクールや放課後子ども教室など、地域で学校を支えてくれる人材がたくさんいます。市民の力というのは我が市の財産だと思いますので、これまでの取組を参照し、学校だけではなくて地域全体が皆で子どもを育む町となるよう、市民の皆さん、あるいは地域の住民の皆さんとの協働の視点を活かした内容としていきたいと考えております。

◎白井市長 ありがとうございます。市民との協働、それが小金井市の力であるということは本当におっしゃるとおりだと私も認識しておりますので、その貴重な御意見伺いまして、取り組んでいきたいと思います。

---

◎白井市長 それでは、最後に教育長から総括をお願いいたします。

◎大熊教育長 これまで教育委員会において、子どもや市民の幸せを中心に置いて様々な改革を行ってきたことを報告させていただきました。報告を聞いていて御理解いただけたのではないかと思います。これらの取組一つ一つは教育委員会だけで成し得るものではなく、浅野委員がおっしゃっていたとおり、目指すところを一つにして共に歩んでいかなければならず、教育委員会だけでなく、他部署との綿密な連携が必要不可欠であろうと考えております。

その一つが、こども家庭庁が設置されたことを受けて、切れ目のない子育て支援というのが大きくクローズアップされております。この切れ目のない子育て支援は、教育委員会だけでは当然できるものではなく、教育委員会と様々なところが連携して初めて実現することだと思っておりますので、どうか市長にはかけ橋になっていただきたいと心から願うところであります。

もう少し説明させていただきたいのですが、改革と言ってきましたが、実は学校の授業だけの変革することを目標に取り組んでおります。この改革と変革、変革と改革はどう違うのかといいますと、変革は物事を変えて新しくすることで、100%変えることです。改革は、基盤を維持しつつ、社会制度や組織を改め変えることを意味します。何で授業だけの変革なのかと言いますと、これから訪れる世の中は、よく先行き不透明な世の中だと言われますが、教育委員会としてはそうは捉えておりません。予想困難な、今まで経験したことのない荒波が次々に押し寄せてくる世の中であり、そういう世の中に子どもたちを送り出すこととなるため、子どもたち一人一人に、その荒波を乗り越える力をつけていかなければならず、また、それが学校の使命であると考えているから授業は変革しなければいけないと訴えているところです。

この授業変革については、いわゆる今まで言われていた知識の量がいかに豊富になったかということ視点をするのではなくて、目の前の課題を自分事化し、それを1人で抱え込むのではなくて共同で解決していく力が必要だと思っています。こういうことに自信を持って皆で協力して取り組めるような子どもになってもらいたくて、授業変革が不可欠であると言っているところですが、これはこれからの学校の使命でもあると捉えています。

これをどのように伝えているかという点、校長会等で繰り返し説明するとともに、教育委員会訪問や指導室訪問、それから各研修会等で何度も具体的に説明しています。その結果、少しずつですが前へ進んでいます。

しかしながら、このことは、教育委員会だけの改革だけでは達成できるものではありません。このことを全市の共通理解とし、市全体の改革にもつなげていきたいと思っております。

それから、この授業変革は、GIGAスクール構想で1人1台のタブレットが配られたことにより、急速に進展していると感じています。改めて御礼を申し上げたいと思います。

その成果として報告させていただきますと、私どもは教育委員会訪問という形で各学校に教育委員さんと全員で訪問しておりますが、訪問した学校が全ての時間で、全ての科目でタブレットを活用している姿を見ることができました。本当にすごかったです。それも様々な取組のやり方を見ることができました。

その様子を数字的に見ますと、文部科学省の調査では、日常的にタブレットを使っているかという設問があり、その設問に、小金井市の小学校の子どもたちは70%が使っていると答えていますが、これは東京都の平均40%をはるかに超える数字であって、このGIGAスクールにおいて、小金井市の子どもたちが積極的に活用できているということを表す大きな数字ではないかなと思っています。

また、GIGAスクールにおいてはタブレットを導入していただいただけではなくて、高速通信環境が整備されているため、全校一斉にタブレットが活用できるというところもございまして、このことにつきましても、この場を借りて改めて御礼申し上げたいと思います。

しかし、先ほど申し上げたように、小金井市教育委員会で理解していただきたいことは、小金井市ではタブレットを活用することを目的としているのではなくて、タブレットを活用して授業の効率化を図って対話や体験活動を充実させてほしいということの主眼に置いているところです。そういうことを目的としていますが、これは先生方にとって大変なことだと思います。やはり目標の共有化が必要だと思いますので、子どもたち一人一人に荒波を乗り越える力をつけていかなければならないことを、市全体で理解していただきたいと思っています。

先ほどもいろいろ話をさせていただきましたが、この授業変革だけではなくて、小金井第一小学校の増改築、新型コロナウイルス感染症対策、生涯学習部においては、スポーツ推進計画に基づく、人生100年時代を踏まえたライフステージに応じたスポーツ活動の推進や、名勝小金井（サクラ）100周年記念行事、また、先程も報告がありましたが、結城座の国の無形文化財指定に向けた取組など、様々なことを同時に行っております。これを同時に行うために

は、職員の数が足りない点もあります。職員を適切に配置していただいたときにこういうことが実現可能ではないかなと思っておりますので、よろしくお願いします。

最後に、先日、小金井第一中学校で卒業式が行われた際に、子どもが答辞を読まれました。その一文を紹介させていただいて、コロナ禍における子どもたちがどのように活躍したかという点を御理解いただきたいと思えます。読ませていただきます。

「コロナ禍の学校生活では実施が難しい行事が多く、悔しい思いをすることがありました。そのような中で重要視されたのは、ソーシャルディスタンスの確保、たとえ少人数であっても密接な集会在嫌われるコロナ禍においては、全校生徒が運動場や体育館に集まるような学校行事は全てできなくなりました。運動会やふじがね祭といった大規模なものにとどまらず、その影響はふだんの学校生活にも及び、多くの行事が実施不可能になったのです。

しかし、私たちは、そうした状況を新たな生活スタイルを構成する好機と捉え、新しく導入されたICT機器を使った学校生活をつくることに挑戦しました。例えば学校行事のオンライン開催。代表例として挙げられるのが、生徒総会、小金井第一中学校生徒会の在り方を協議する重要な場です。ここに、世間で言うテレワークを運用することにしました。各教室をオンラインでミーティングで接続して開催する方式を取り、大勢の接触を避けつつ円滑な学校づくりが今でも行われております。他にも、授業中での調べ学習、スライドを使ったプレゼンテーションなど、様々な活動の中でICT機器を活用しました。徐々に活用できる場面が増え、多くの行事、企画が新たな形で復活し、私たちの学校生活に彩りが戻ってきたのです。また、生徒一人一人がICTを使うことが当たり前になることで、社会に飛び立つ上で必要な知識を養うことができるのは、この状況だからこそ得られた経験だと思えます。」

以上です。ありがとうございました。

◎白井市長 小金井第一中学校の生徒さんの答辞を読んでいただきありがとうございます。大人も負けじと頑張らないといけないと思えます。ありがとうございました。

それでは、日頃から小金井市の教育行政における課題に対し真正面から取り組んでいただいている教育委員会の皆様には、ここで改めて感謝を申し上げるとともに、今後につきましても、引き続き皆様からのお力添えをお願い申し上げたいと思えます。

先ほど教育長からもおっしゃっていただいたように、いろんなことをやらないといけない、変えていかないといけない、これは市長部局と地域の皆さんの全員で協働していかなければならないということです。それを、言葉だけではなく、実行に移していけるよう、市長部局としても取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして閉会の挨拶と代えさせていただきます。

以上で、予定した議題は全て終了いたしました。これもちまして、令和4年度第1回総合教育会議を終了いたします。皆様、ありがとうございました。

(午後4時25分閉会)